

平成 29 年度第 1 回価格審査会の開催について

平成 29 年度第 1 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	平成 29 年 4 月 14 日(金) 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室
委 員	吉田 保 日本工営株式会社 特別顧問 関口 司 東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長 柳 泰彦 株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	第一土木調査部 部長：高橋 俊一 共通資材調査部 部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：佐藤 良久 課長：康広 誠己 建築調査部 部長：加納 慎二 監査審査室 室長：後藤 裕 調査統括部 部長：鈴木 昌樹、次長：古井戸 宏、課長：菊池 信博

平成 28 年度第 12 回価格審査会議事録(案) 確認

平成 29 年度第 1 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明

1. 「建設物価」5月号、「Web 建設物価」5月号の価格動向

- ・ 価格が上昇した資材は、異形棒鋼等（沖縄除く各都市）、H形鋼（北海道、東北、関東、北陸、中部の各都市）、鋼板（全都市）、線材製品（全都市）、レディーミクストコンクリート（会津若松、船橋、五條、阿蘇、延岡A・B・C）、道路用砕石・割ぐり石（帯広、宮古、八頭、さつま）、ストレートアスファルト・アスファルト乳剤（沖縄除く各都市）、芝（札幌）、構造用合板（大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本）燃料油【軽油ローリー】（北海道、東北、北陸除く各都市）、鉄スクラップ（全都市）等であることを説明。
- ・ 価格が下落した資材は、伸銅品（各都市）、レディーミクストコンクリート（諫早）、アスファルト混合物・再生アスファルト混合物（京都・福知山ほか2都市、奈良・奈良ほか7都市）、燃料油【灯油ローリー】（北海道、東北、北陸、中部、大阪）、非鉄スクラップ（東北、北陸除く各都市）等であることを説明。

2. 注目資材

- ・ ストレートアスファルト【東京】
- ・ 鉄スクラップ【東京】

3. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	鋼材類の変動理由は、「原材料の高騰から値上げを実施し上伸」と「母材である鋼板等の値上がりを受け上伸」とあるが、鉄スクラップだけでなく鉄鉱石も値上がりしているのか。	原材料である高炉品の鉄鉱石、電炉品の鉄スクラップとも値上がりしており、その影響で鋼材類は上伸となった。
審議 2	鉄スクラップの現況と見通しの中で輸出向けが順調とあるが、鉄スクラップの主な輸出先はどこか。	2016 年度で見ると、輸出量が多い順で、韓国向けが 363 万トン、中国向けが 203 万トン、ベトナム向けが 183 万トンとなっている。
審議 3	価格指数推移で他紙と比較する理由は。	他紙の調査方法については詳細が分からないため、価格変動の動きや推移を見て問題がないか確認している。
審議 4	海外資材アクセス情報で鋼材、セメントなどの輸入資材の価格を掲載しているが、この理由は。また、国産品の価格と比べどうか。	日本の建設事業では、輸入資材の使用頻度は少ないが、国産品と輸入品の価格差などの情報に一定のニーズがあり、このニーズに応えるため掲載している。また、輸入資材の価格は、国産品より安いのが一般的である。
審議 5	原料炭や鉄鉱石の価格動向が新聞にも掲載されているが、鉄鋼製品の直近の状況はどうなっているのか。	H 形鋼で言えば、プロジェクト向けが好調であるが、市中取引の大半をしめる中小物件は低迷している。主要電炉メーカーは、足元の販売価格を据え置いているが、流通業者はこれまでの仕入れ価格上昇による収益悪化に対する懸念から、需要家への転嫁値上げに取り組んでおり、目先も強含みである。
審議結果	「建設物価」5月号、「Web 建設物価」5月号の価格動向について問題はなかった。	

以上